ウルトラファインバブル生成技術で躍進

加工分野から洗浄分野へ、海外展開にも注力

塩（しお）

塩（八王子市、駒澤増彦社長、042・649・2770）は技術開発に特化した企業で、2008年の設立以来、工作機械の性能を向上させる技術や装置を開発している。

主力製品はウルトラファインバブル生成器「SIO」。従来のバブル発生装置にはない、水を通すだけでファインバブルを生成できる装置で、技術の裏付けとなる特許登録は国内外で30件以上。ユーザー使用実績は4500件を超えている。

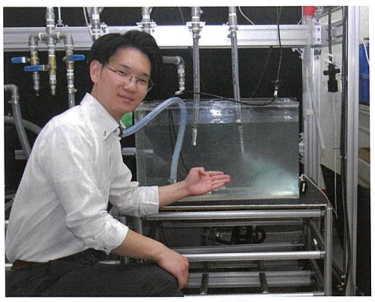
「SIO」を工作機械や洗浄装置等に設置すると流体の性能が大幅に向上し、桁違いの冷却効果や洗浄効果を発揮。これにより加工品質の向上、コスト削減、各種工程の時間短縮を実現する。「驚異のパフォーマンスを実際に試してほしい」とデモ器の貸し出しやレンタルプランも用意している。

同社は家庭でも使える製品開発にも取り組み、水道メーターの先につなぐ設置工事をするだけで、キッチン、風呂など家中の水を洗浄効果の高いウルトラファインバブル水に変える「SIO HOME」を製品化した。

また、ファインバブルの活用分野を広げるため東京都立大学流体工学研究室と共同研究を実施。ウルトラファインバブルとマイクロバブルの2種類のバブルを生成する新製品「SIO-V」を開発し、半導体系の洗浄分野等への拡販を進めている。23年春には、工作機械の加工液のタンクに取り付けると腐敗を抑制し、臭いを軽減して加工液を長持ちさせるキット「循環型SIO-V」も発売した。

「SIO」の機構を応用して、液体と気体など2種類の流体を効率的に撹拌する装置を開発中で、現在、米国の大学で実証実験を行っています。この装置で新分野を開拓し、海外展開にも力を入れていきたい」と駒澤心営業部長は話す。

「循環型 SIO-V」のセット一式（定価 70,950円税込）



「循環型 SIO-V」のバブル発生状況について説明する駒澤営業部長

八王子IC近接の産業廃棄物処理工場

石綿含有廃棄物の調査・受け入れに対応

アクアホーム

アクアホーム（武蔵野市、安保貴史社長、0422・27・6279）は解体工事と産業廃棄物処理が事業の2本柱だ。

2023年に創業18年を迎え「今後も社員教育に力を入れ、さまざまな資格取得支援を行っていきたい」と安保社長。

解体事業では木造・鉄骨造・RC造などの建造物の解体が可能で、近年は主にビルや工場・倉庫などの大型建造物の解体を受託。21年より解体工事の事前調査として義務化された「建築物石綿含有建材使用調査」も自社の有資格者と一級建築士にて行い、他社とコストの差別化を図っている。

産業廃棄物処理では、中央道八王子ICから車で5分のところに処理工場を有し、持ち込まれた廃棄物からリサイクル可能な品目を選別し、中間処分場に搬出している。

また、搬入の混雑をさけるためのLINEによる予約システムの導入や、産業廃棄物の処理に関する経験のない方にも施設を利用してもらうため、事業内容や利用方法を分かりやすく説明したアニメ動画を制作したり、顧客向けに「アクアホームNEWS」を毎月発行するなど、顧客目線に立ったサービスを提供している。

24年10月からは「建築物石綿含有建材使用調査」が強化され、有資格者による事前調査が義務付けられる。

「解体工事だけではなく、100万円以上のリフォーム工事でも石綿の事前調査が必要です。電子マニフェストや現場回収にも対応していますので、ご相談ください」と安保社長は話す。

八王子市にある産業廃棄物処理工場

平均年齢 34 歳と若い社員をけん引する安保社長

経営者のマインドシフトを支援

経営者が集う「多摩起業家倶楽部」を設立

ヘルシーブレイン

ヘルシーブレイン（府中市、柴原健次代表社員、042・407・4660）は中小企業の経営者や個人事業主を中心に、時代に即した思考改革や経営相談のコンサル支援を行う。一人で悩み決断する経営者の思いに寄り添い、時代を捉えながら、事業活動において「共感」を生むプロセスをプロデュースする。

人的資本経営やリスキリング、DXやAI対応、働き方改革など、さまざまなビジネスキーワードが登場するが、「これらを学んでも自社への導入は容易ではなく、事業の役に立たないケースが多い」「大事なことは最先端ではなく、それらの『最後端』についていくこと。そのための経営者のマインドシフトこそが、いま求められているリスキリングです」と柴原代表は話す。

経営者本人には見えにくい自分や「視点」「認」なども交

「多摩起業家倶楽部」のホームページ

BOBセミナー
たまちゃんが行く!

多摩信用金庫・たましん法人総合サービスBOB事務局発行
たまNAVI106号(2023年8月1日発行)より抜粋